

1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 24 年 2 月 28 日



団体名 菱野温泉 常盤館

代表取締役

職氏名 花岡 隆 印

菱野温泉 常盤館は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要			
プロジェクトの名称	薪ボイラー等によるロハスな温泉宿プロジェクト			
プロジェクトの主体	菱野温泉 常盤館			
プロジェクトの 構成団体名 (複数の者で構成する場合)	菱野温泉 常盤館			
普及する自然 エネルギーの種別等	木質バイオマス(薪)			
プロジェクトの目的	採算に合う薪ボイラーを稼働し、ロハスな温泉宿を目指す			
地域関係者との協働 の内容	斉藤林業、東信木材センターから地元間伐材の供給を受ける			
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他 (場作りなど)			
プロジェクト(事業) の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階			
プロジェクトの主な 概要	2007年度より薪ボイラーを導入し、温泉宿の補助熱源として厨房、浴湯、客室給湯の温水の1/3をほぼ賅う。導入前は灯油を年間22万7000ℓを使用、二酸化炭素567tを排出。導入後は197tに減らし二酸化炭素約35%を削減。地元の間伐材を燃料に活用するなどロハスな温泉宿を目指すとともに、地域の森づくりにも貢献。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属		氏名	花岡 隆
	TEL	0267-22-0516	email	takashi@tokiwakan.com
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。

区 分	内 容										
プロジェクトの内容	<p>2007年、石油文明から脱却し健康で持続可能なライフスタイルに価値観を見出し、主体性を持って実践する小諸地域のネットワーク組織「こもろ lohas 会議」が設立された。これを契機に、経営する温泉宿の二酸化炭素削減計画を策定、10年後(2017)に半分の391t(CO₂)に削減する目標を掲げ取組をスタート。</p> <p>その一環として、灯油燃料の削減のため薪ボイラーを導入、豊富にある地元のカラマツ間伐材を燃料に、施設内の補助熱源として厨房、浴湯、客室給湯の温水の1/3をほぼ賄うまでになった。</p> <p>○導入機種 業務用給湯器(薪ボイラー/ATO社 N-1950NSB) 熱源能力:16.3~24万kcal/h(244.5kW) 貯湯容量:1,500ℓ</p> <p>○燃 料 カラマツ中心の間伐材 600m³(年間使用量) 1日当たり使用量 2m³(1日あたり4回投入) 仕入れ単価 5,500円/m³(L=1.8m) 調達先 地元素材生産業者(斉藤林業) 長野県森林組合連合会東信木材センター</p> <p>○燃料等削減効果(年間)</p> <table border="0" data-bbox="654 1176 1356 1411"> <tr> <td>導入前の灯油使用量</td> <td>220,000ℓ</td> </tr> <tr> <td>H23年度の灯油使用量</td> <td>135,500ℓ</td> </tr> <tr> <td>灯油削減量</td> <td>84,500ℓ(約700万円の削減)</td> </tr> <tr> <td>人件費等の経費</td> <td>約500万</td> </tr> <tr> <td>差引削減額</td> <td>約200万円(導入効果)</td> </tr> </table> <p>○取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪の補給機械を自作するなど徹底した人件費の削減に努力。 ・燃焼を効率化するため1年間材を乾燥させるための土場を整備。 ・地元の森林林業の振興のため地元間伐材を活用。 ・補助金の適用は受けず、自立的な取組とし、遊び心を持って取組む。 	導入前の灯油使用量	220,000ℓ	H23年度の灯油使用量	135,500ℓ	灯油削減量	84,500ℓ(約700万円の削減)	人件費等の経費	約500万	差引削減額	約200万円(導入効果)
導入前の灯油使用量	220,000ℓ										
H23年度の灯油使用量	135,500ℓ										
灯油削減量	84,500ℓ(約700万円の削減)										
人件費等の経費	約500万										
差引削減額	約200万円(導入効果)										
プロジェクトを行うコミュニティの区域	小諸市										
構成員の役割	—										
現に活動しているかの有無	あり(2007年から取組む)										
活動の成果等の帰属	小諸市民										
普及推進体制	—										
プロジェクトの有効性	二酸化炭素の削減、採算的にも経費の削減につながっており更に地域の森林整備の推進、地元林業者の雇用にも貢献してお										

	り地域資源の循環利用により多岐にわたりプロジェクトの有効性が認められる。
継続性及び発展性	地域の資源の持続的な利用、経営的にも採算性が確認しており、10年後(2017年)の目標設定を踏まえて取り組んでおり継続性、発展性がある。
関係法令の手続き状況	
団体設立年月日	年 月 日
ホームページ	http://www.tokiwakan.com/
備考	

添付書類 ①組織の規約、②プロジェクトの概要書(別紙)、③構成員名簿、④プロジェクトの内容の分かる資料(写真等)

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。

